

平成15年度対策技術分野登録課題<石炭>

No.	担当省	課題名	課題概要	実施期間	予算事業計画概要	予算計上省/実施機関	プログラムとの対応	備考
1	経産省	石炭利用技術開発	<p>(1)要求を行う施策・事業の概要 「クリーン・コール・テクノロジー(CCT)の研究開発」 石炭は埋蔵量が豊富で、世界の広範な地域に賦存しており、価格も安定していることから、今後とも石油代替エネルギーの重要な柱の一つ。 しかしながら、近年の地球環境問題への高まりから、地球温暖化、酸性雨など石炭利用に伴う地球環境問題への積極的な対応が求められており、石炭利用に伴う環境負荷を低減させることを目的としたCCTの開発は、環境及びエネルギー対策上、非常に重要な技術開発である。 このため、当事業においては民間ニーズの動向を踏まえ、技術開発の推進状況に応じ、実用化技術、次世代技術、基盤技術の各段階に分け、CCT開発の推進を図る。</p>	<p>昭和57年度～平成19年度 補助金 直接交付先：新エネルギー・産業技術総合開発機構、民間団体等 間接交付先：民間企業等 交付先件数(一件当たり単価)：9件(程度)(1件当たり277百万円) 補助率：2/3、定額(2/3相当)、定額 終期：平成19年度</p>	<p>補助率：2/3、定額(2/3相当)、定額 【始期】昭和57年度 【14年度事業予定】 (1)実用化技術開発1,681,907千円(1,203,793千円) 石炭を高効率燃焼させる技術、石炭を多目的に利用する技術、石炭灰を有効に利用する技術につき継続的に実施する。 (2)次世代技術開発307,145千円(69,758千円) 微量元素の測定及び測定技術の開発、石炭熱分解技術の大型試験を継続的に実施する。 (3)石炭利用基盤技術開発384,970千円(21,975千円) 高性能ガス化シュミレーターの開発を継続的に実施する。</p>	<p>経済省/民間団体等</p>	<p>A-e:対策技術</p>	
2	経産省	噴流床石炭ガス化発電プラント実証	<p>石炭ガス化複合発電(IGCC: Integrated coal Gasification Combined Cycle)は、石炭をガス化し、ガスタービン及び蒸気タービンの2つのタービンを駆動させることにより発電効率を飛躍的高め、最終的にはCO2排出量を石油火力並みまで低減できる技術。エネルギーセキュリティの確保と地球環境問題への対応の双方に資する本技術開発について、現在実用化に向けての最終実証試験を実施しているところ。</p>	<p>補助金 直接交付先：株式会社クリーンコールパワー研究所 補助率：3/10 開始：平成11年度 終期：平成21年度</p>	<p>実証機建設地点における環境影響評価の手続きと並行して、実証機の詳細設計及び実証プラントの材料手配を実施する。</p>	<p>経済省/株式会社クリーンコールパワー研究所</p>	<p>A-e:対策技術</p>	